

# 鳥飼まちづくりグランドデザイン説明会

居住性向上エリアC  
1回目

～エリアの将来予想・取組の方向性の共有～

令和5年5月14日



# 本日の目的

1. 鳥飼まちづくりグランドデザインの考え方を知ってもらう
2. 地域資源・将来予想について共有する
3. 現状と課題、課題解決に向けた取組の方向性について共有する
4. 地域資源・将来予想・課題・取組の方向性について意見をいただく



## ② 居住性向上エリア (Cエリア)



# 鳥飼まちづくりグランドデザイン紹介動画



## とりかい 鳥飼まちづくりグランドデザイン ぼうさい どだい ～防災を土台としたまちづくり～



動画はこちらからもご覧いただけます  
(摂津市ホームページ)

再生



# 「鳥飼まちづくりグランドデザイン」について

## 1 鳥飼まちづくりグランドデザインの考え方

人口減少・少子高齢化の進展、公共施設の老朽化、地域コミュニティの希薄化  
+  
鳥飼地域の水害リスクが高いという地理的特性

住民の生命と身体を守る「危機管理（防災）」の観点を軸として、  
誰もが「安全・安心」に過ごし、  
「にぎわい」と「暮らしやすさ」が調和したまちを目指す

子や孫の世代の将来を見据えた長期的な視点から  
まちづくりの方向性をとりまとめ

## 2 まちづくりエリアの設定

鳥飼地域は、淀川や河川公園、田畠・水路、工場・倉庫の事業所群や大阪銘木団地、大阪モノレール南摂津駅など多様な地域資源が点在。鳥飼地域を一体として議論することは、適當ではない。

4つの「まちづくりエリア」を設定し、地域資源や地域の個性を改めて評価し、地域ごとの特徴に磨きをかけ、まちづくり（グランドデザイン）を検討

※鳥飼まちづくりグランドデザイン

令和3年度に「鳥飼まちづくりグランドデザイン策定委員会（附属機関）」を設置し調査・審議の上、市長へ答申

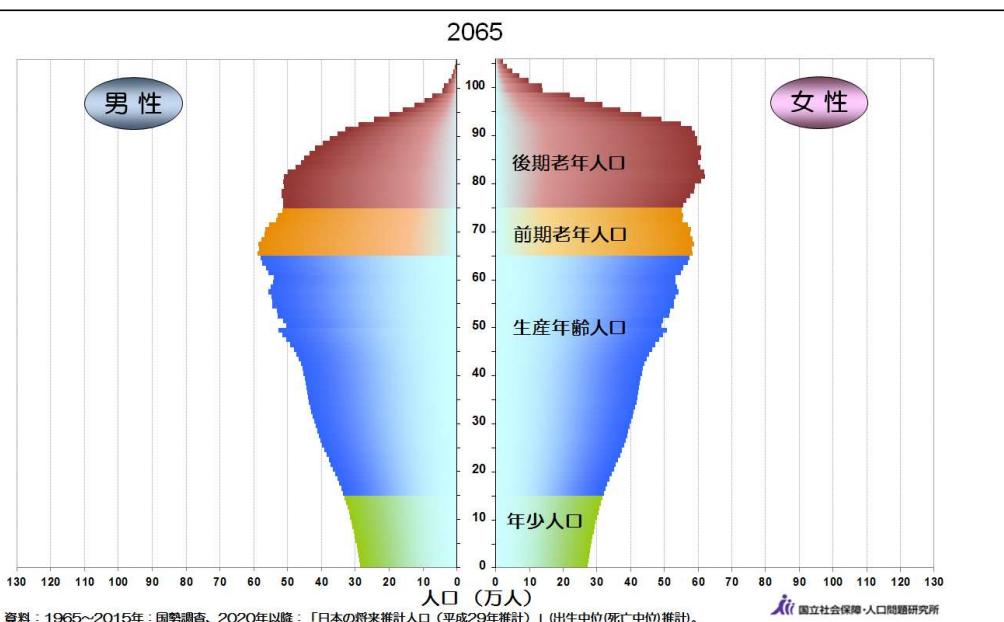
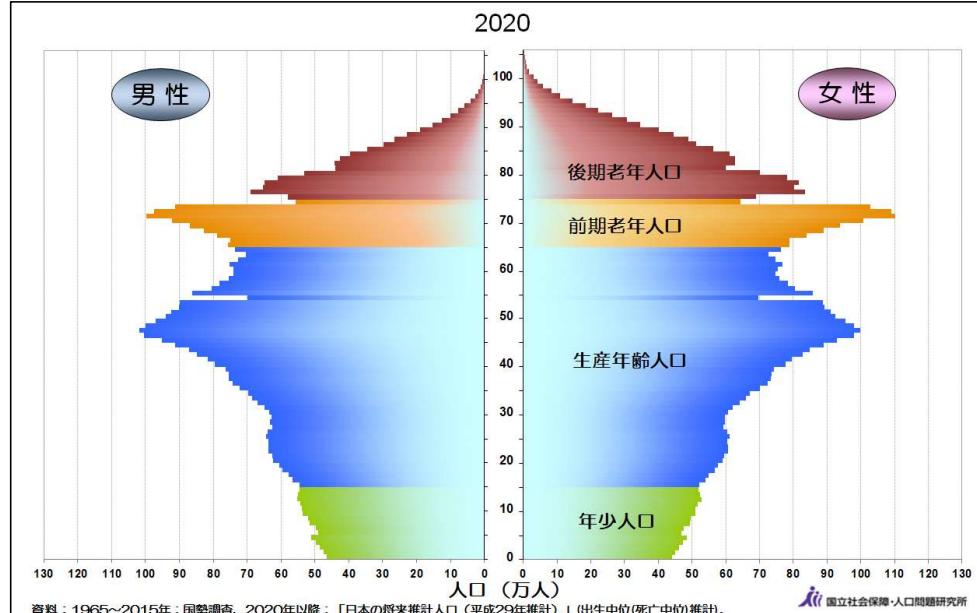
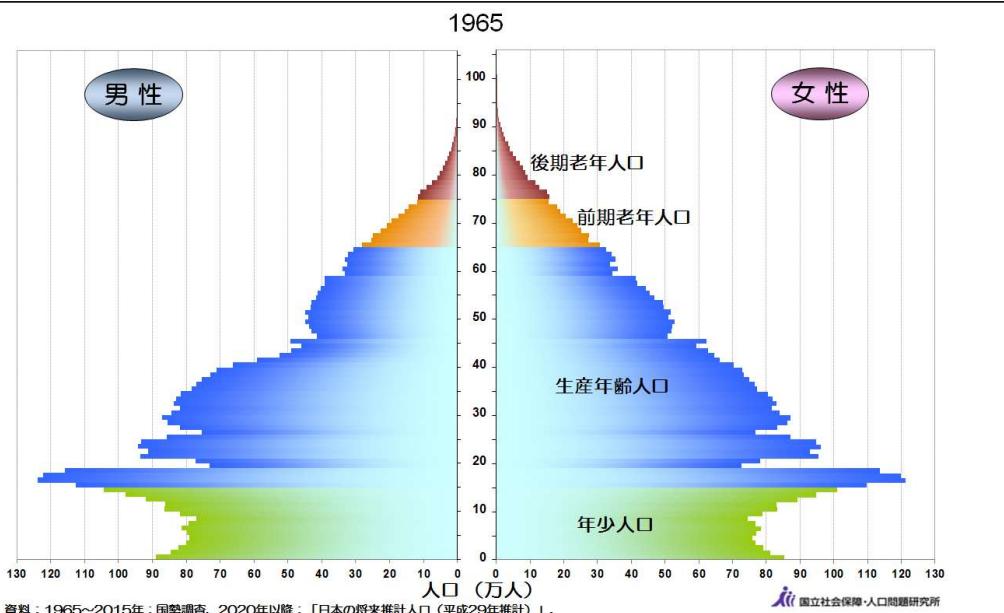
委員構成：学識経験者3人（まちづくり、危機管理、都市計画）、関係団体4人（自治連合会、商工会、社会福祉協議会）、公募市民2人

# 鳥飼地域の現状



# 鳥飼地域の現状

## 人口ピラミッドの推移(全国)



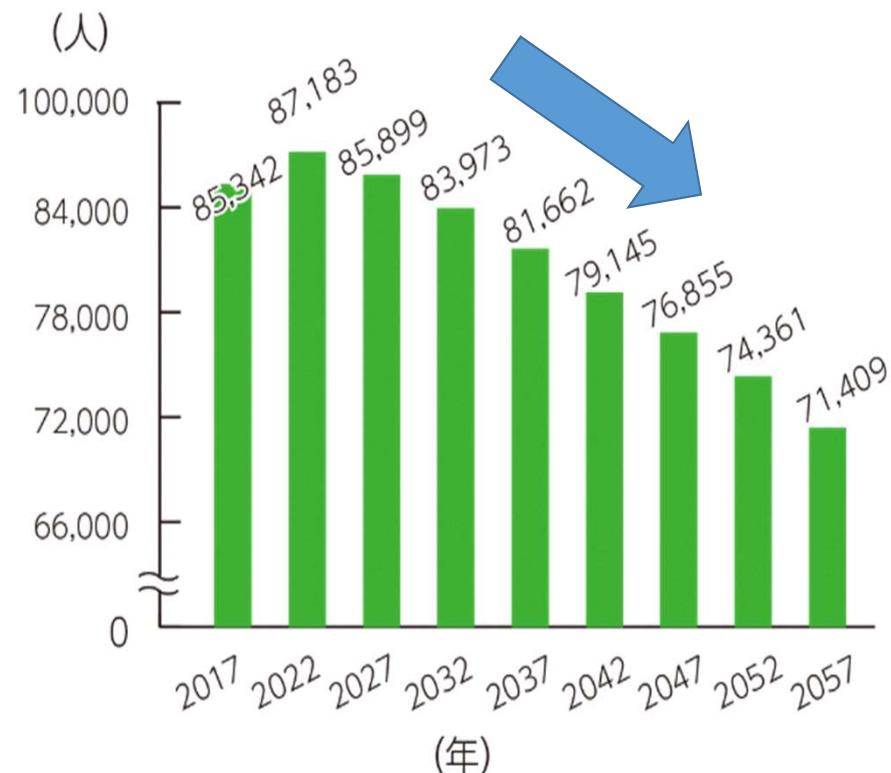
1965年：ピラミッド型  
↓  
2065年：逆三角形に近い形

生産年齢人口・年少人口が減少  
→ 働き手が減少し、  
支え手が大幅に少ない状況になる

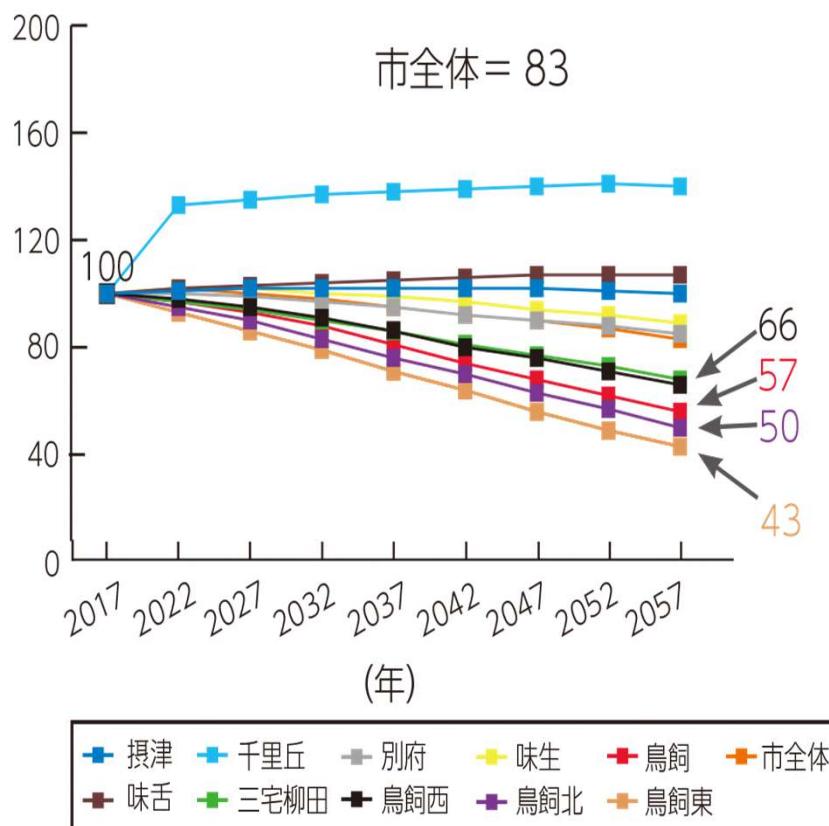
# 鳥飼地域の現状

## 将来人口の推計(摂津市全体)

- 市の総人口は、2022年の約8万7千人をピークに減少傾向に入り、2042年には8万人を下回り、2057年には約7万1千人まで減少すると想定されている。
- 小学校区別でみると、2017年から2057年にかけ、鳥飼地域(鳥飼、鳥飼西、鳥飼北、鳥飼東)の人口が大きく減少しており、およそ**鳥飼が4割、鳥飼西が3割、鳥飼北が5割、鳥飼東が6割減少**すると見込まれている。



図表 総人口の見通し(市全体)

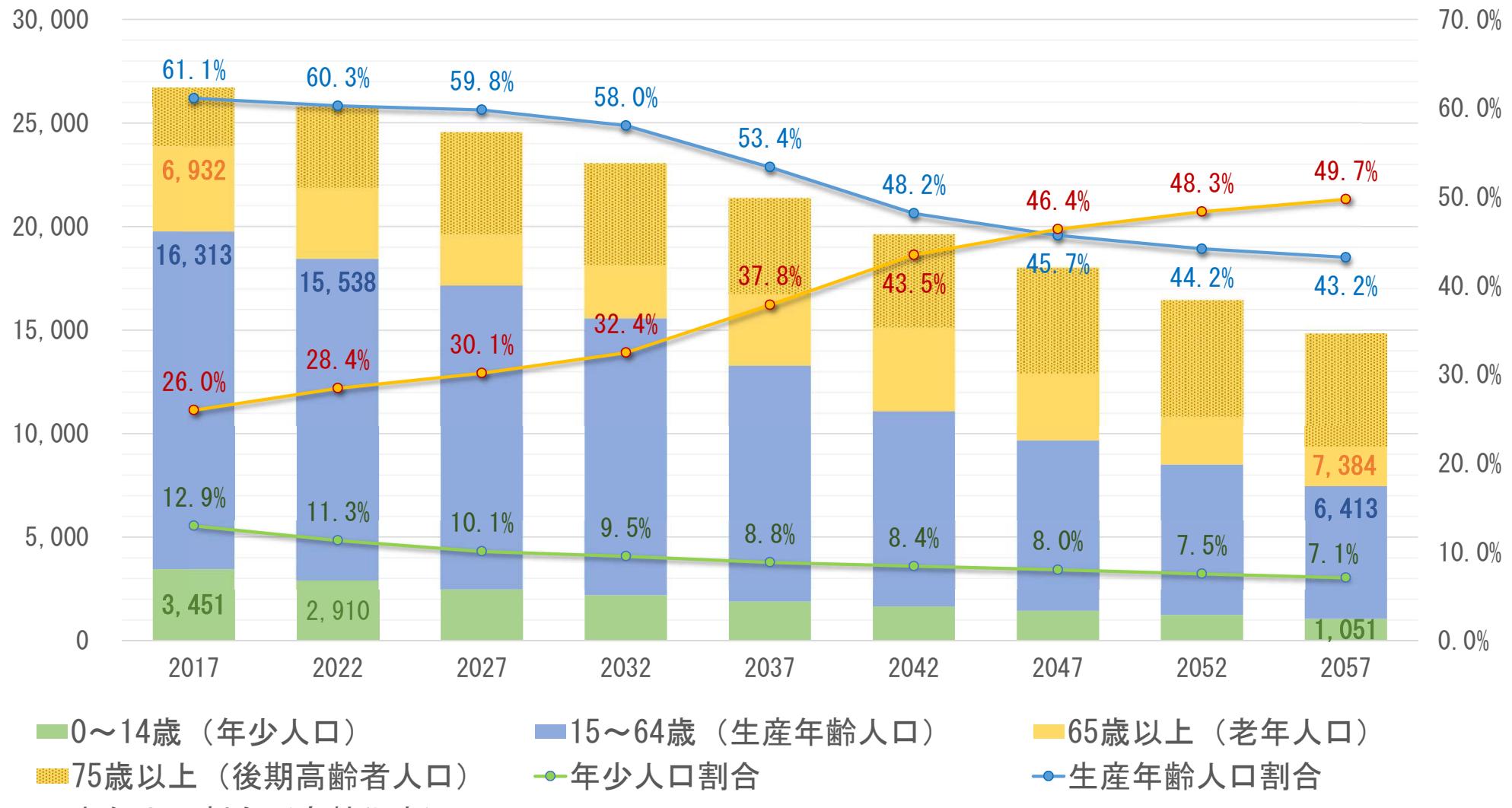


図表 総人口の変化(小学校区別)  
※2017年を100とした場合の変化

# 鳥飼地域の現状

## 将来人口の推計(鳥飼地域)

2017年と比較し2057年には**生産年齢人口+年少人口は約12,500人減少**する推計  
(人)



出典：摂津市「2040年問題を背景とした行政課題等の分析及び解決に向けた基礎調査等支援業務報告書」

地域の支え手が大幅に減少してしまう

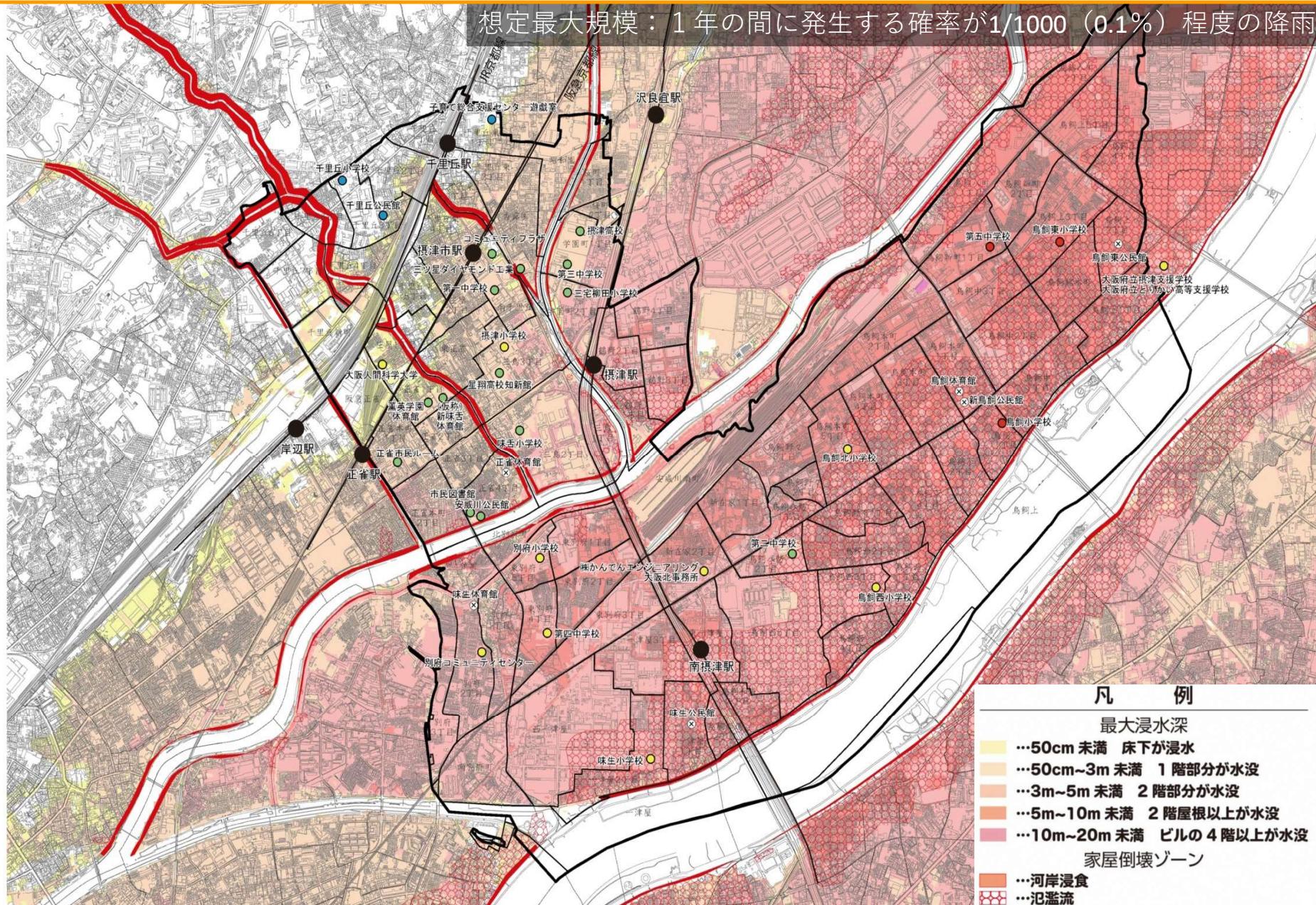
## 鳥飼地域の水害等自然災害のリスク



# 鳥飼地域の自然災害のリスク（水害）

## 淀川+安威川等重ね合わせ浸水想定区域図(想定最大規模)

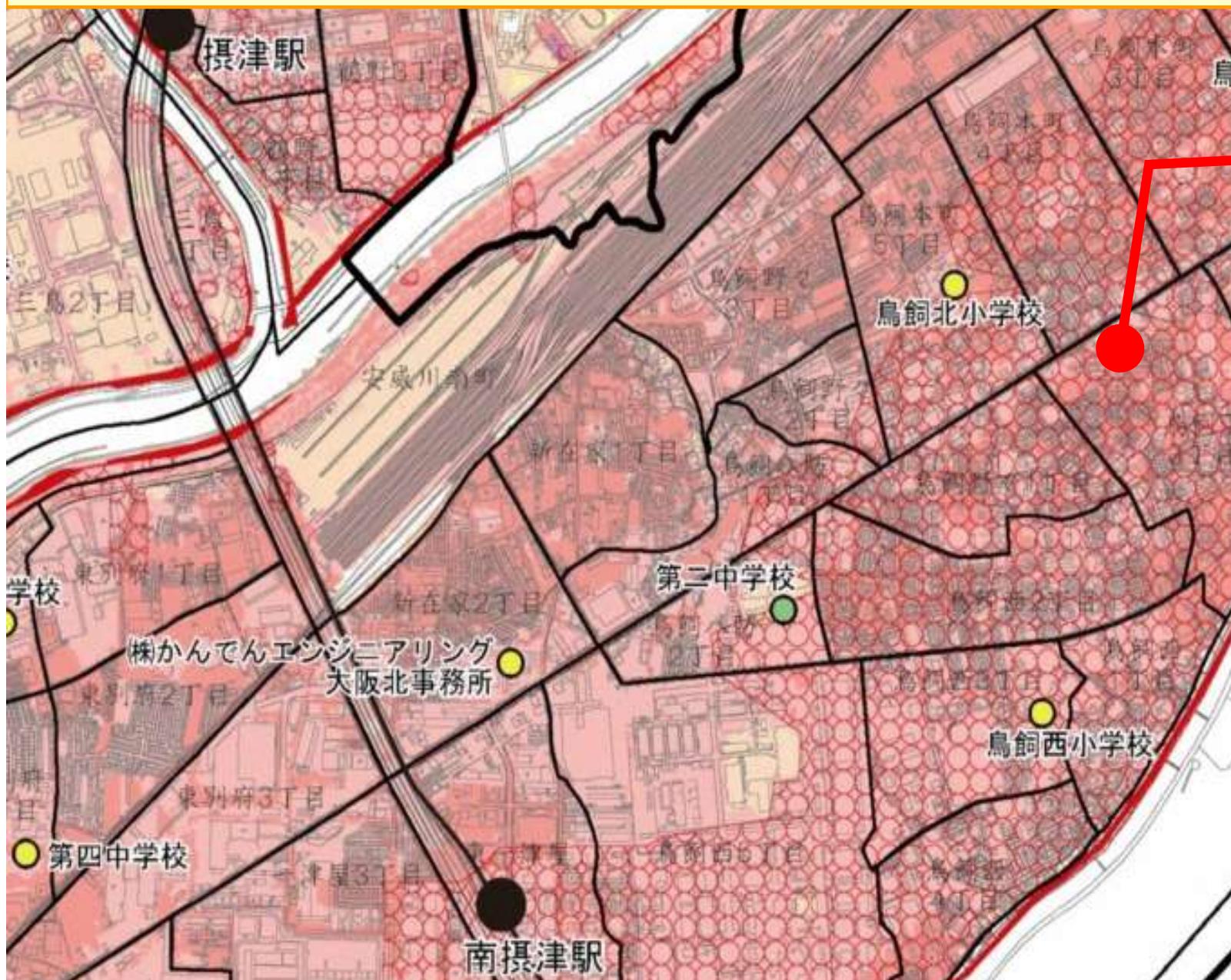
想定最大規模：1年の間に発生する確率が1/1000（0.1%）程度の降雨の規模



市内ほぼ全域が浸水してしまう

# 鳥飼地域の自然災害のリスク（水害）

## 淀川+安威川等重ね合わせ浸水想定区域図(想定最大規模)(拡大)

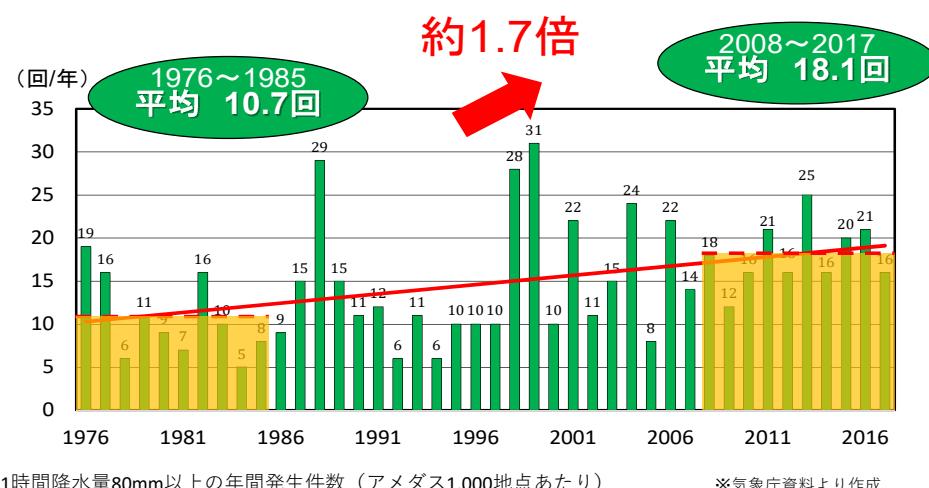
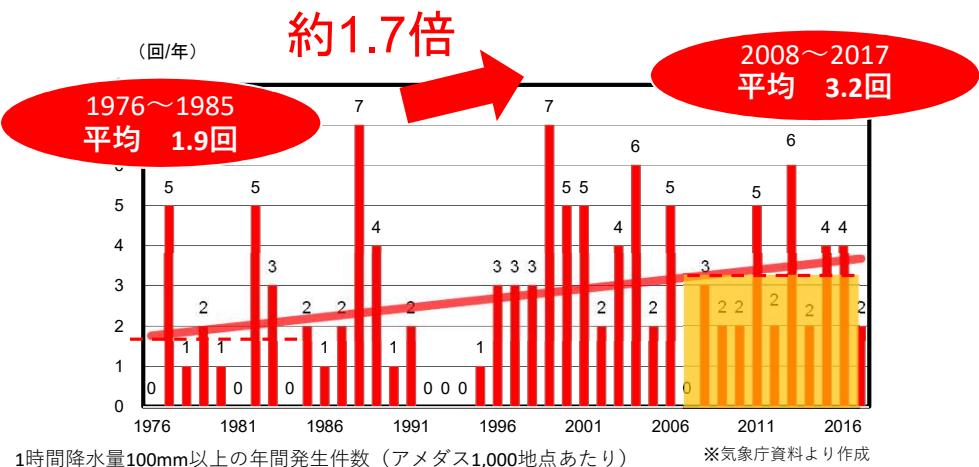
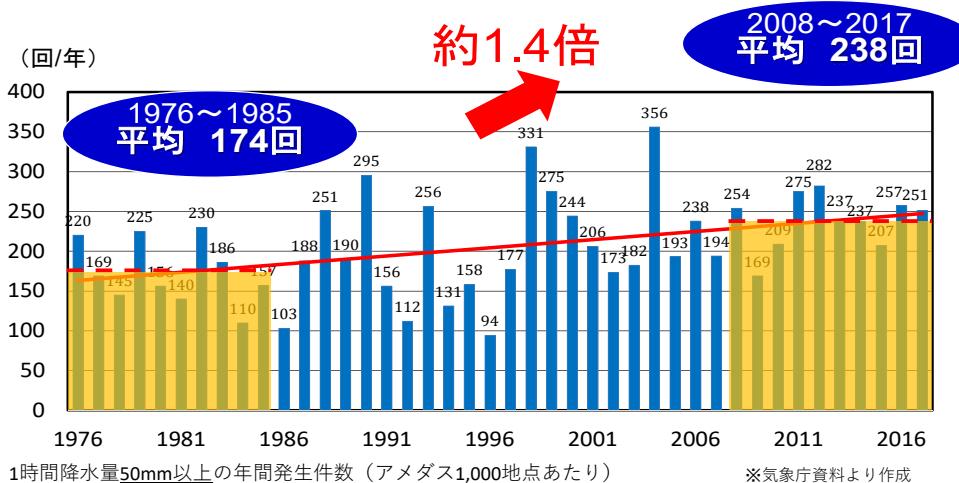


赤丸網掛け部分は氾濫流により建物が倒壊・流失する可能性があるエリア

# 鳥飼地域の自然災害のリスク（水害）

## これまででは大丈夫だったが・・・？

- この30年間で、時間雨量50mmを上回る大雨の発生件数は約1.4倍、時間雨量80mmは約1.7倍、時間雨量100mmは約1.7倍に増加。
- これまで比較的降雨の少なかった北海道・東北でも豪雨が発生。
- 今後も気候変動の影響により、水害の更なる頻発・激甚化が懸念。



### 【雨が降る原理】

海の水が蒸発して、水を空に供給

⇒空で急激に冷やされて、雨となって降ってくる。

### 【温暖化の影響】

海水温の上昇

⇒大気中の水分量が増加

⇒上昇気流をつくり大気の循環を促進

⇒たっぷり水を含んだ空気を供給

大量の雨を継続して降らすことが可能となる。

これまででは大丈夫でも今後も大丈夫という保証はない

# 鳥飼地域の水害等自然災害のリスク

## 淀川堤防が破堤することはあるのか

- ・河川の水が堤防を越えることで破堤する可能性はある

### 河川水の越水による堤防決壊

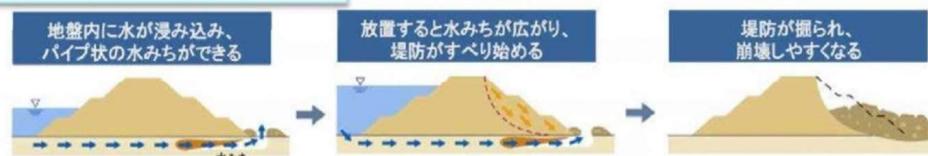
河川水の越水による堤防決壊  
イメージ図



- ・河川水が堤防を越流する。
- ・越流水により土で出来た川裏(河川と反対側)の法尻が洗掘される。
- ・堤防の裏法尻や裏法が洗掘され、最終的に崩壊に至る。

### 河川水の浸透による堤防決壊

パイピング破壊  
イメージ図



#### 【パイピング破壊】

- ・高い河川水位により地盤内に水が浸み込み、川裏側まで水の圧力がかかることにより、川裏側の地盤から土砂が流出し、水みちができる。
- ・土砂の流出が続き、水みちが拡大して、堤防が落ち込み、最終的に崩壊に至る。

浸透破壊  
イメージ図



#### 【浸透破壊】

- ・降雨や高い河川水位により水が浸透し、堤防内の水位が上昇する。
- ・堤防内の高い水位により、土の強さ(せん断強度)が低下し、川裏側の法面がすべり、最終的に崩壊に至る。

### 河川水の侵食・洗掘による堤防決壊

侵食・洗掘破壊  
イメージ図



- ・河川水により堤防の河川側が侵食・洗掘される。
- ・河川水による侵食・洗掘が続き、最終的に崩壊に至る。

想定最大規模の降雨の場合、淀川や安威川の堤防が溢れる可能性がある

# 鳥飼地域の自然災害のリスク（水害）

2015年（平成27年）9月10日に決壊した鬼怒川の映像（近隣住民が撮影した濁流が住宅地を流れる動画）



提供：鬼怒川堤防調査委員会（近隣住民の方から提供）  
[https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr\\_content/content/000633308.wmv](https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000633308.wmv)



# 鳥飼地域の自然災害のリスク（水害）

2015年（平成27年）9月10日に決壊した鬼怒川破堤地点の映像（国土地理院の無人航空機による動画）



## 平成27年9月関東・東北豪雨の情報

出典：国土地理院 <http://www.gsi.go.jp/BOUSAI/H27.taihuu18gou.html>

動画URL <https://www.youtube.com/watch?v=WFtpyGXyDFg>

国土地理院



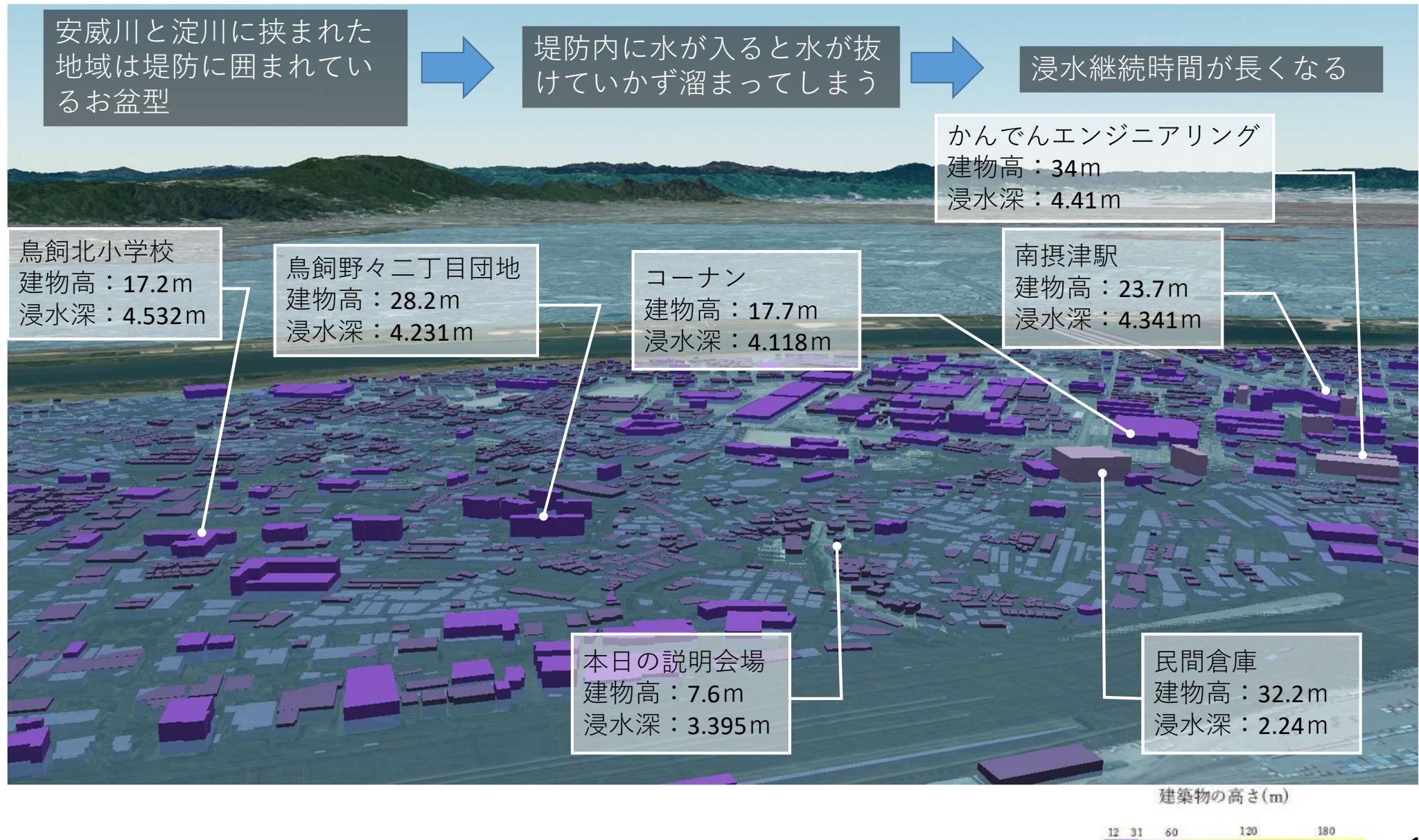
動画URL



# 鳥飼地域の自然災害のリスク（水害）

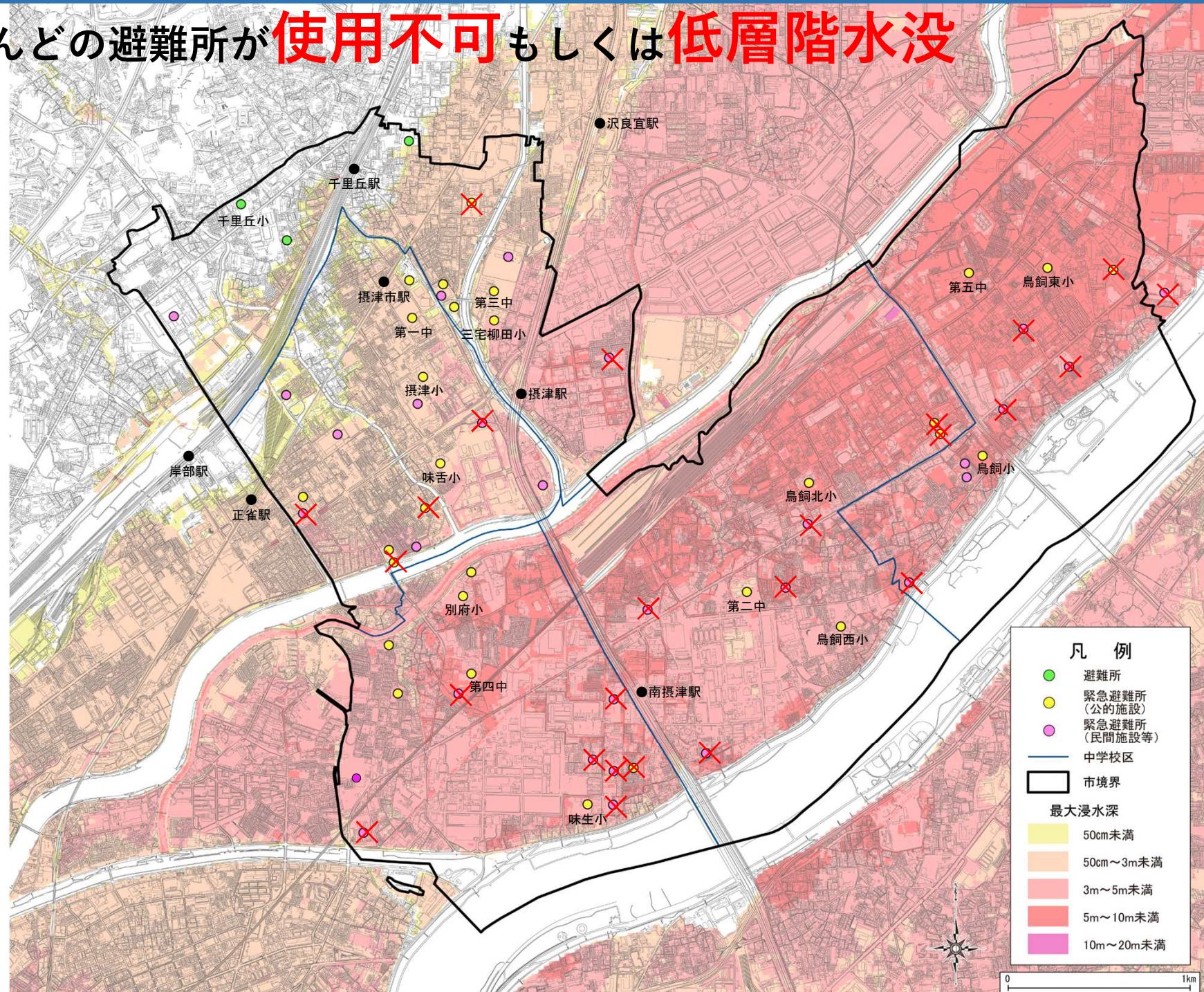
## 淀川氾濫時（想定最大規模）の浸水イメージ

PLATEAU（国土交通省が進める3D都市モデル整備・活用・オープンデータ化のリーディングプロジェクト）でシミュレーションした浸水想定



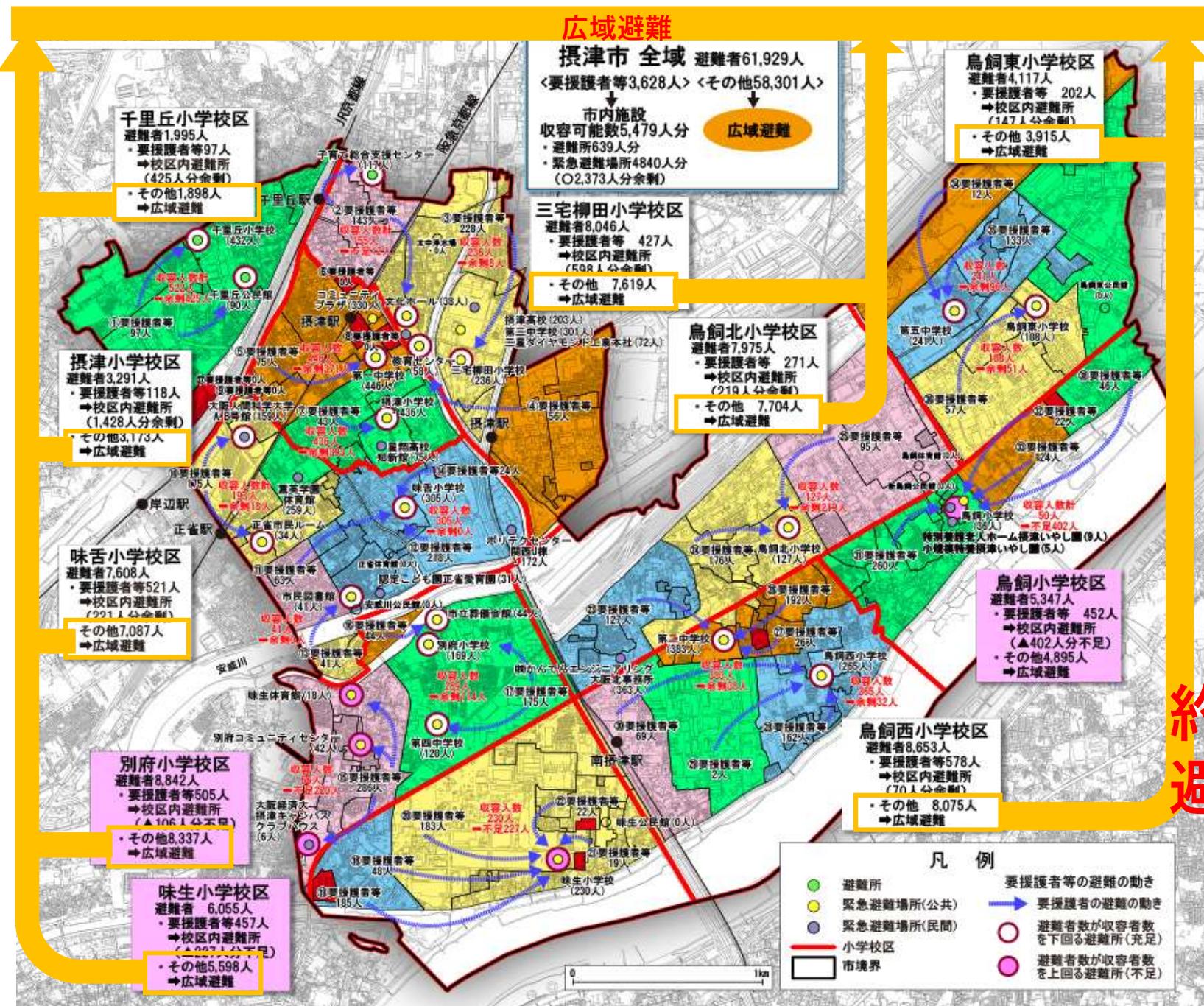
# 鳥飼地域の自然災害のリスク（水害）

ほとんどの避難所が**使用不可**もしくは**低層階水没**



# 鳥飼地域の自然災害のリスク（水害）

摂津市では水害時は避難所も水没し、避難所が不足するため、事前の**広域避難が大原則**です！



水害時の避難者数  
約62,000人

に対して

避難者収容可能数  
約5,500人

# 約56,500人分 避難所不足！

# 鳥飼地域の自然災害のリスク（水害）

- ・大原則は事前の広域避難
  - ・高齢者や障害者等の避難行動要支援者の最低限生命と身体を守るために場所の検討が必要
- ➡ 水没しない高台化した避難場所を検討

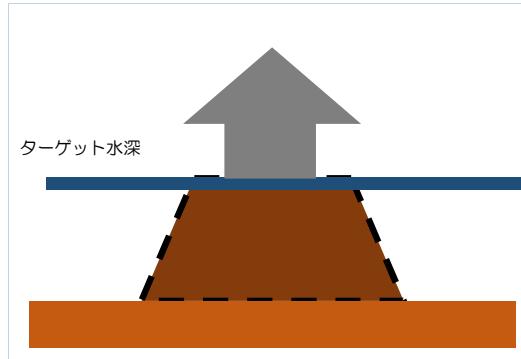
確率 浸水深	1/30年	1/100年	1/200年	想定最大
安威川	(浸水なし)	0.5m～3m		3m～5m
淀川	(浸水なし)	(浸水なし)	(浸水なし)	3m～7.3m

## ○高台まちづくりの対象水深（考え方：案）

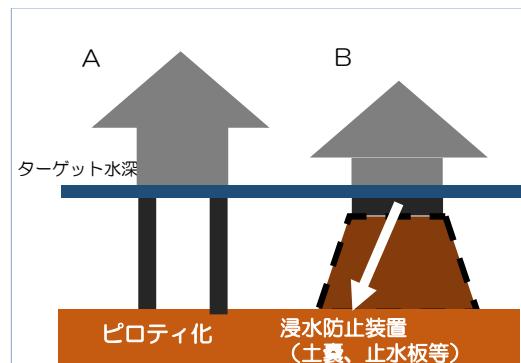
ターゲット水深	評価
安威川L1： 計画規模 (1/100年) 浸水深 0.5m～3m	現時点での浸水リスクはあるが、大阪府および国のハード整備の進捗により、将来はなくなる。
安威川L2： 想定最大浸水 (1/1000年) 浸水深 3m～5m	安威川の計画規模以上の降雨があった場合を想定した最大水深。 鳥飼地域（安威川以南）においては、淀川の想定最大浸水深に包含される。 想定最大とは現在までのデータから想定した1/1000年程度の降雨確率。気候変動の影響により、その降雨発生確率は高くなる。
淀川L2： 想定最大浸水 (1/1000年) 浸水深 3m～7.3m	淀川の計画規模以上の降雨があった場合を想定した最大水深。 想定最大とは現在までのデータから想定した1/1000年程度の降雨確率。気候変動の影響により、その降雨発生確率は高くなる。

水害リスクに対する摂津市のまちづくりの考え方は、淀川L2（想定最大規模）を意識した高台まちづくりを基本として検討を進めることが必要

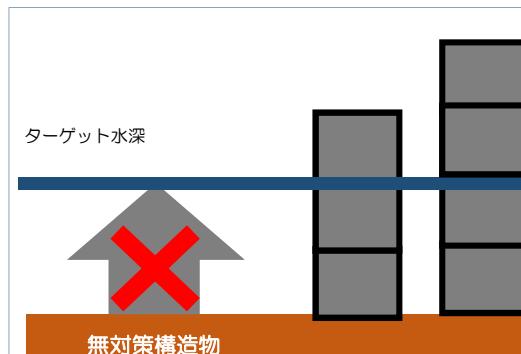
## 高台まちづくりの対策（案）



【全地盤上げ】  
高台とする場所の地盤を、ターゲット水深まで盛り上げる。  
(効果)  
その上の構造物は浸水被害から解放される。



【構造物対応 地盤上げ】  
A ターゲット水深にあわせ建物をピロティ化する。  
B ターゲット水深まである程度地盤を上げ、その余は浸水防止装置を設置する。  
(効果)  
少なくとも建物への浸水被害をなくせる。



【市民への協力を求める方法】  
新しく家等を建設する場合、ターゲット水深より高い位置に空間を作るように規制する。  
(効果)  
垂直避難ができるようになる。

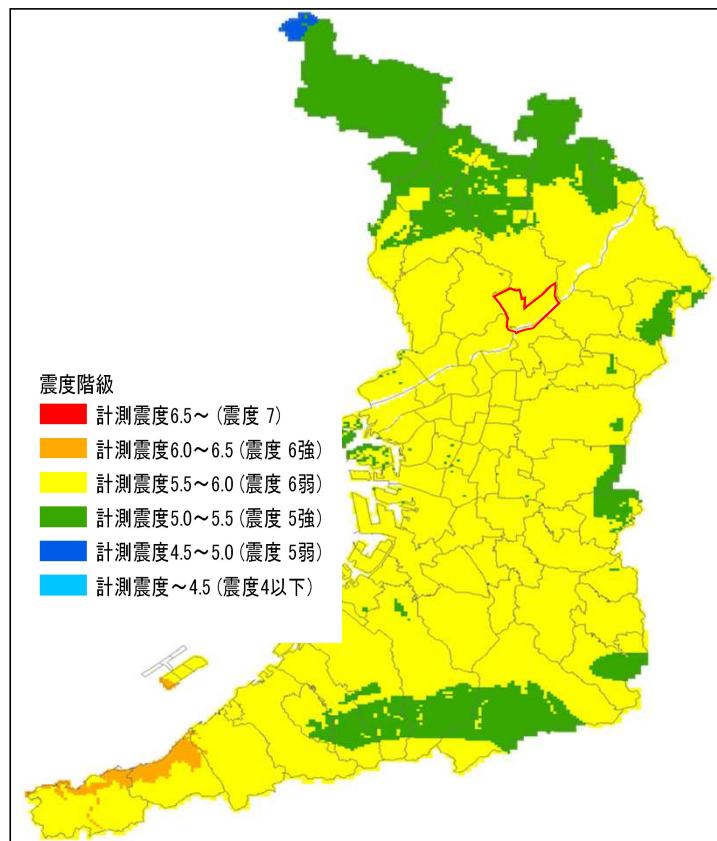
# 鳥飼地域の自然災害のリスク（地震）

## 大阪府周辺で発生確率が高い地震

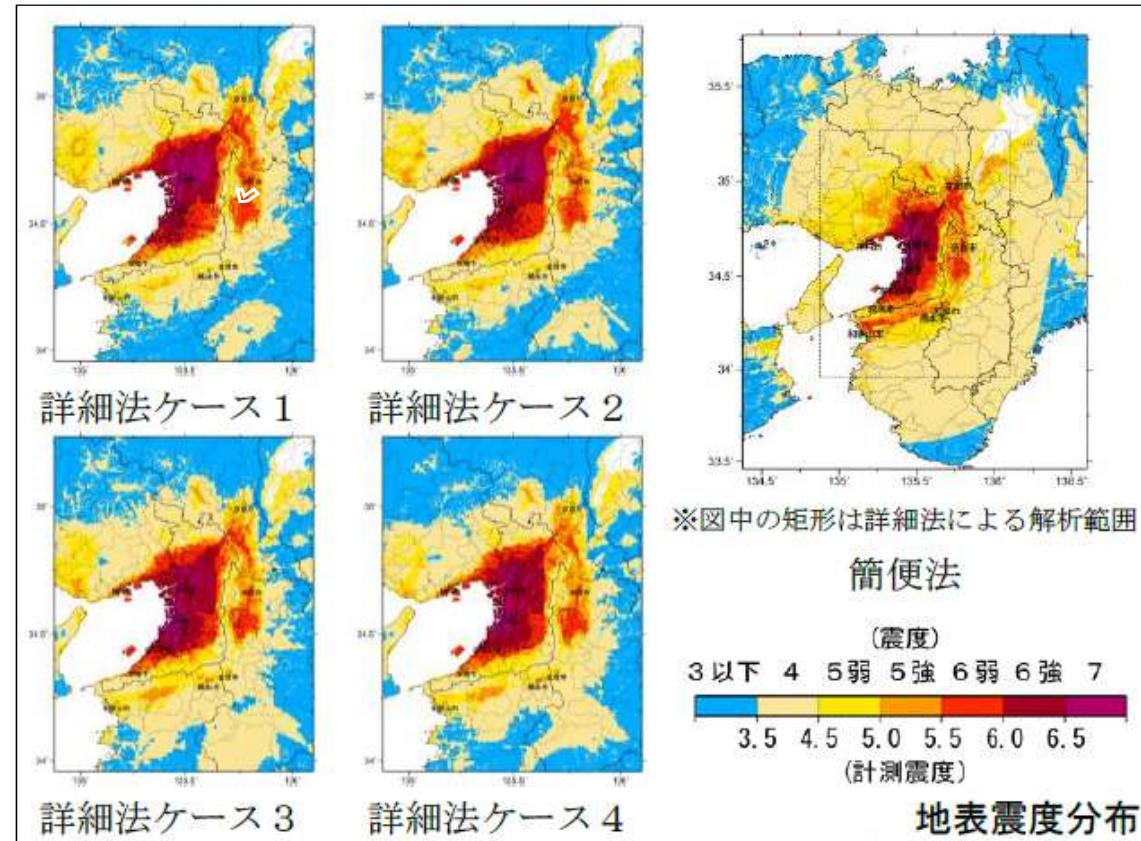
摂津市は、上町断層帯地震発生時の震度は6強～7となっており、南海トラフよりも激しいことが予想されている。

地震	マグニチュード	摂津市想定震度	地震発生確率（30年以内）
南海トラフ地震	8～9クラス	6弱	70%～80%
上町断層帯地震	7.5程度	6強～7	2%～3%

南海トラフ地震地表震度分布



上町断層帯地震地表震度分布



耐震化されていない建物は倒壊の可能性がある

# 鳥飼地域の自然災害のリスク（地震）

## 大阪府周辺で発生確率が高い地震の震源地について

南海トラフ地震に比べ上町断層帯地震は震源地との距離が近いため、被害が大きくなることが予想される

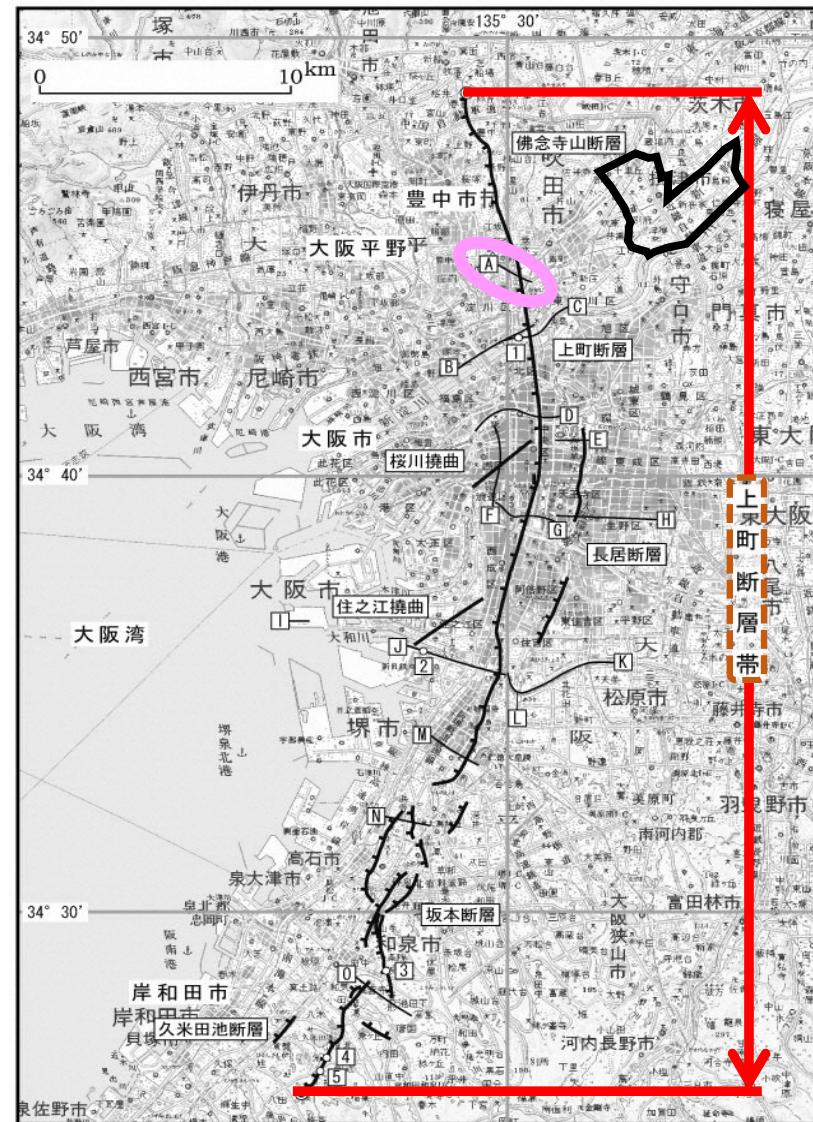
### 南海トラフ地震の想定震源域



出典：気象庁HP

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/npeq/assumption.html>

### 上町断層帯地震の断層位置



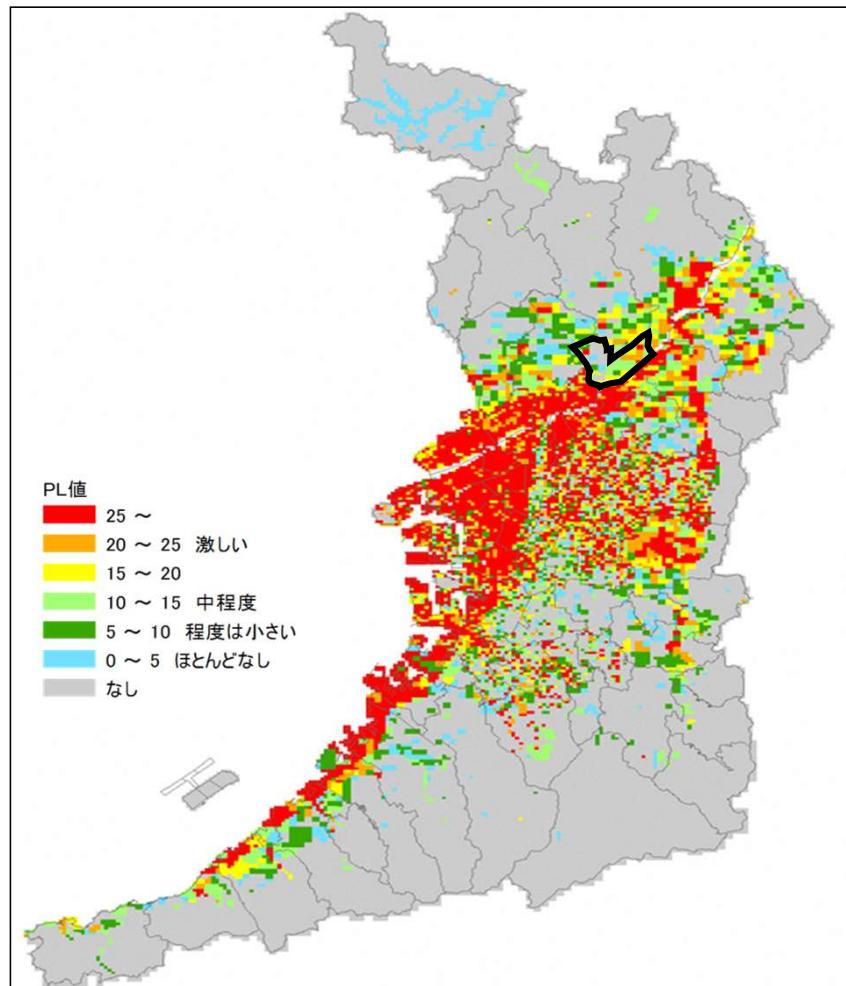
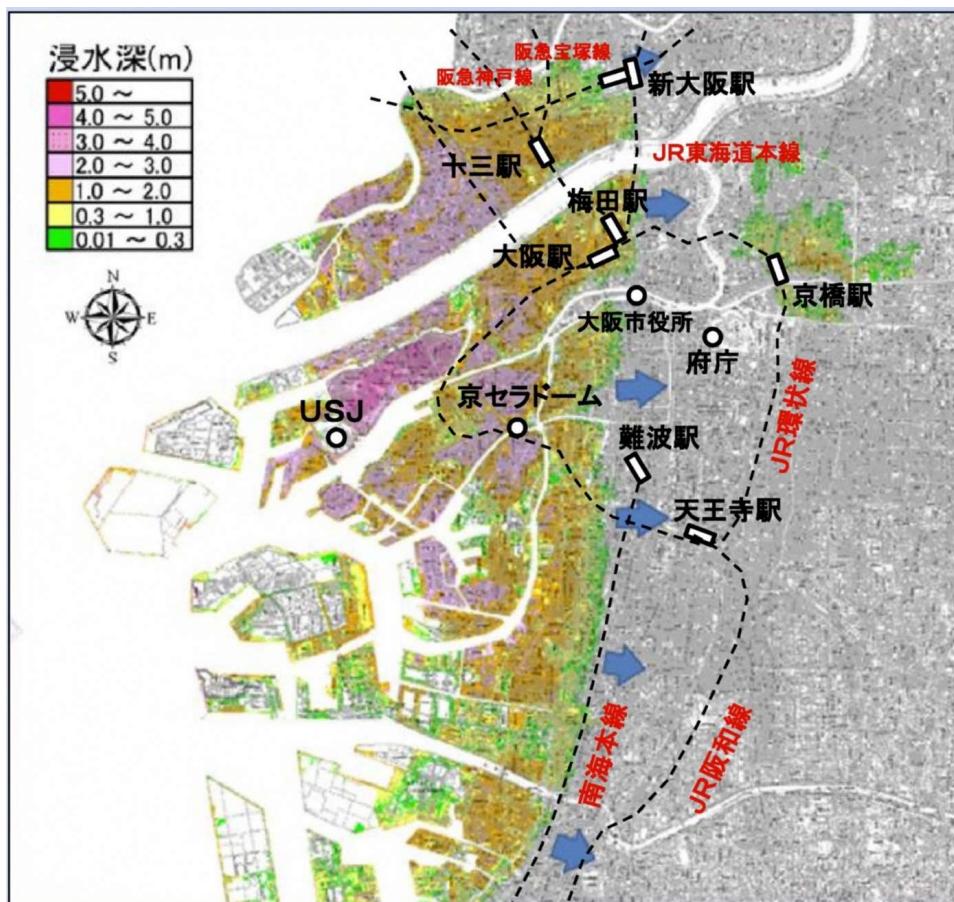
出典：地震調査研究推進本部HP

[https://www.jishin.go.jp/regional\\_seismicity/rs\\_katsudanso/f080\\_uemachi/](https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_katsudanso/f080_uemachi/)

# 鳥飼地域の自然災害のリスク（地震）

## 南海トラフ地震発生時の影響について

- ・津波については、摂津市までは到達しない想定となっている
  - ・液状化現象については摂津市においても発生の可能性があるとされている
- 南海トラフ地震の津波想定浸水図



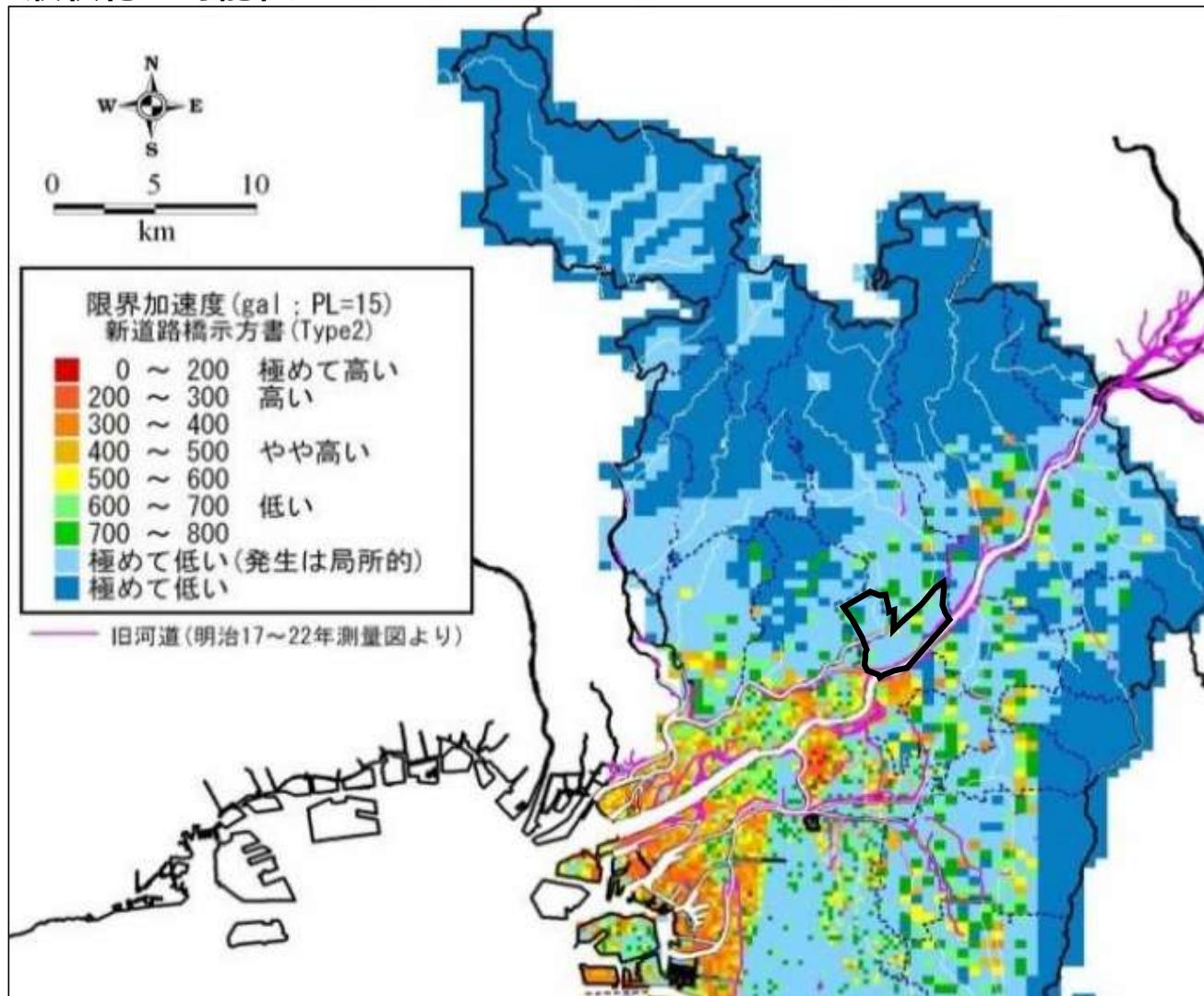
出典：大阪府資料

[https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/23676/00000000/shiryou2-1\\_4.pdf](https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/23676/00000000/shiryou2-1_4.pdf)

# 鳥飼地域の自然災害のリスク（地震）

## 上町断層帯地震発生時の影響について

- ・上町断層帯地震は内陸直下型地震なので、津波は発生しない想定
- ・液状化現象については摂津市においても一部で発生の可能性があるとされている  
**液状化の可能性**



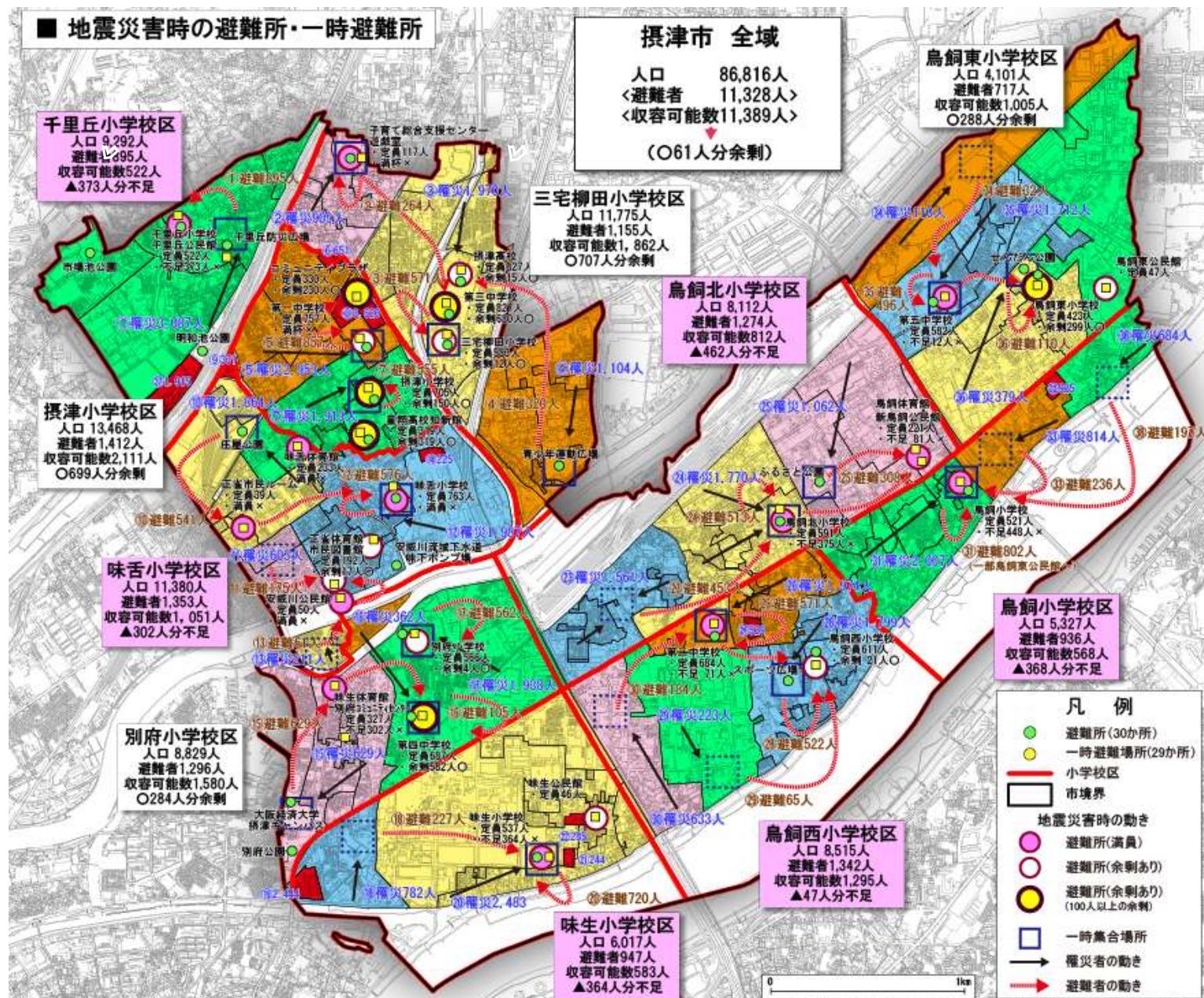
出典：大阪府資料

[https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/23676/00000000/shiryou2-1\\_4.pdf](https://www.pref.osaka.lg.jp/attach/23676/00000000/shiryou2-1_4.pdf)

# 鳥飼地域の自然災害のリスク（地震）

## 地震発生時の避難所について

- ・避難者数想定11,328人に対し、避難者収容可能数11,389人



## 「鳥飼まちづくりグランドデザイン」について



# 「鳥飼まちづくりグランドデザイン」について

## 1 鳥飼まちづくりグランドデザインの考え方

人口減少・少子高齢化の進展、公共施設の老朽化、地域コミュニティの希薄化  
+  
鳥飼地域の水害リスクが高いという地理的特性

住民の生命と身体を守る「危機管理（防災）」の観点を軸として、  
誰もが「安全・安心」に過ごし、  
「にぎわい」と「暮らしやすさ」が調和したまちを目指す

子や孫の世代の将来を見据えた長期的な視点から  
まちづくりの方向性をとりまとめ

## 2 まちづくりエリアの設定

鳥飼地域は、淀川や河川公園、田畠・水路、工場・倉庫の事業所群や大阪銘木団地、大阪モノレール南摂津駅など多様な地域資源が点在。鳥飼地域を一体として議論することは、適当ではない。

4つの「まちづくりエリア」を設定し、地域資源や地域の個性を改めて評価し、地域ごとの特徴に磨きをかけ、まちづくり（グランドデザイン）を検討

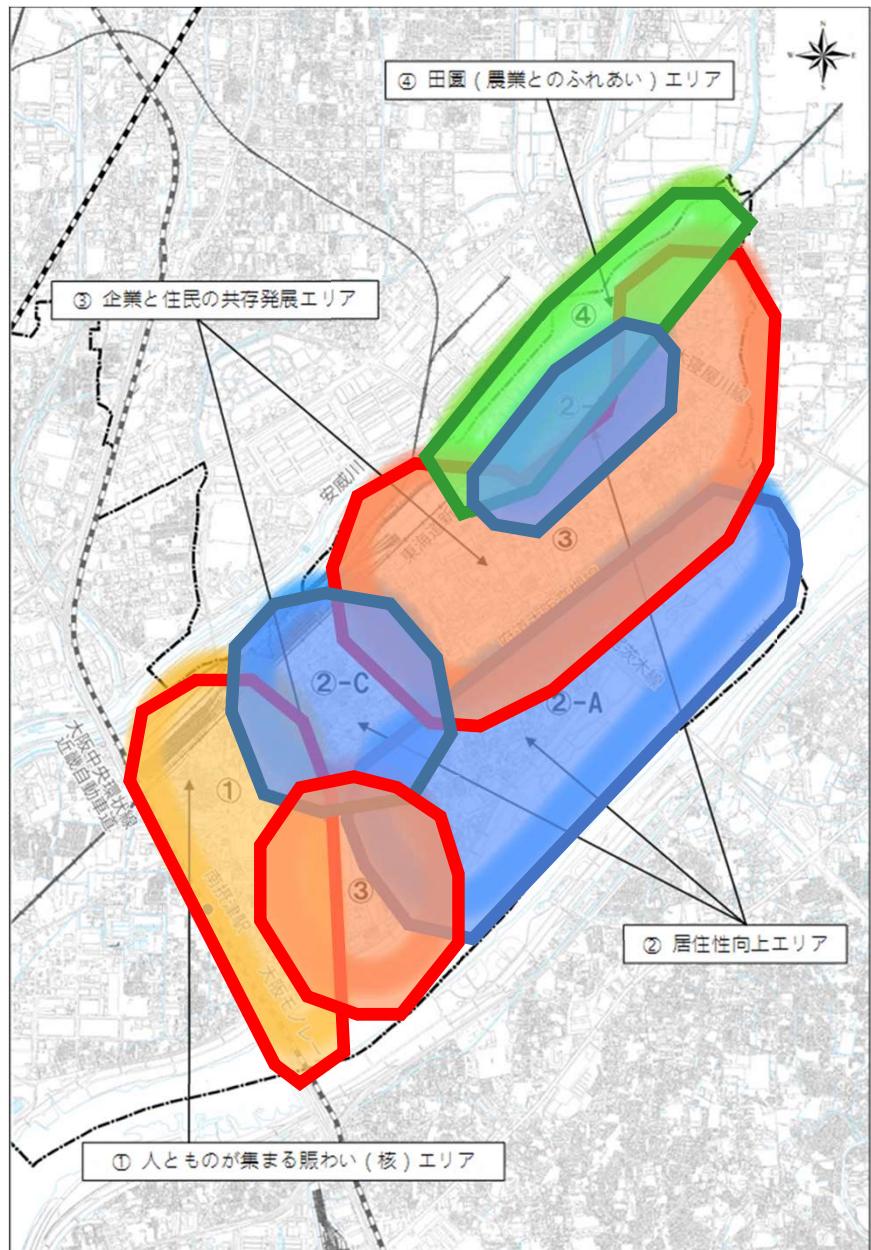
※鳥飼まちづくりグランドデザイン

令和3年度に「鳥飼まちづくりグランドデザイン策定委員会（附属機関）」を設置し調査・審議の上、市長へ答申

委員構成：学識経験者3人（まちづくり、危機管理、都市計画）、関係団体4人（自治連合会、商工会、社会福祉協議会）、公募市民2人

# 「鳥飼まちづくりグランドデザイン」について

## 2 まちづくりエリアの設定（続き）



① 人とものが集まる賑わい(核)エリア



② 居住性向上エリアA



② 居住性向上エリアB



② 居住性向上エリアC



③ 企業と住民の共存発展エリア



④ 田園(農業とのふれあい)エリア



# 「鳥飼まちづくりグランドデザイン」について

## 3 エリア全体にかかる取組

以下の項目については、エリア毎に取り組むより、エリア全体で検討を行う方が効果的であると考えられるため、エリア全体で取り組むこととします。

- ①教育環境
- ②公共交通
- ③地域コミュニティ活動
- ④公園
- ⑤ＩＣＴ（情報通信技術）の活用による発信力向上・コミュニケーション強化

## 4 鳥飼まちづくりグランドデザインを実現するための進め方

グランドデザインを実現していくためには、これまで以上に住民や地域活動団体、事業者等の連携・協力が必要不可欠

本日

地域のすべての世代の住民、関係するすべての地域活動団体、事業者等と  
鳥飼地域の現状や課題の共有、意見交換を行う

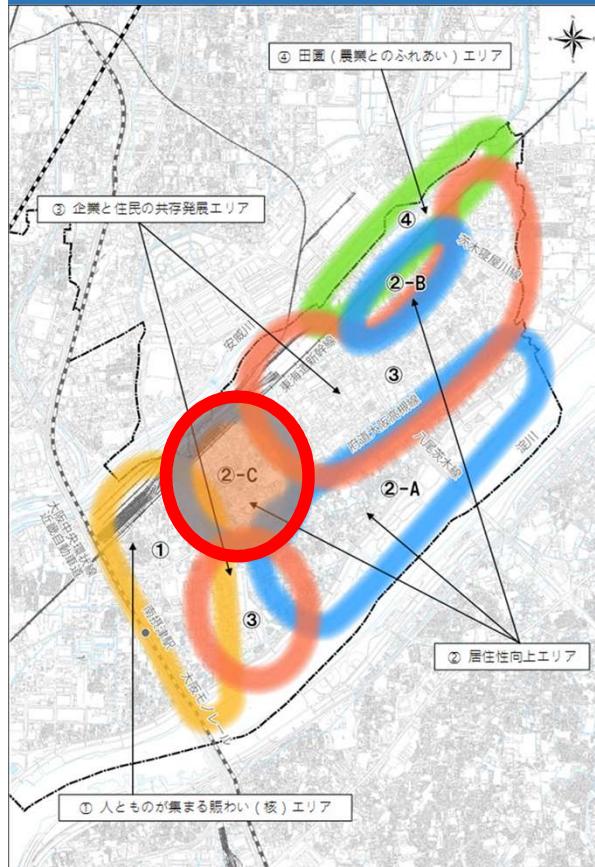
次回

多様な世代の地域住民や関係者等との対話を重ねながら地域の意見も踏まえた将来予想に  
必要に応じて修正する

将来予想の実現に向けた取組等の優先順位、関係者間の役割分担について  
ワークショップ等により整理等を行う

関係者等の協力を得られたものから具体的な市の施策や事業スキームを検討し、  
事業実施に向けた財源確保に取り組む

# 居住性向上エリアCについて ～エリアの特徴（地域資源）・将来予想 の共有～

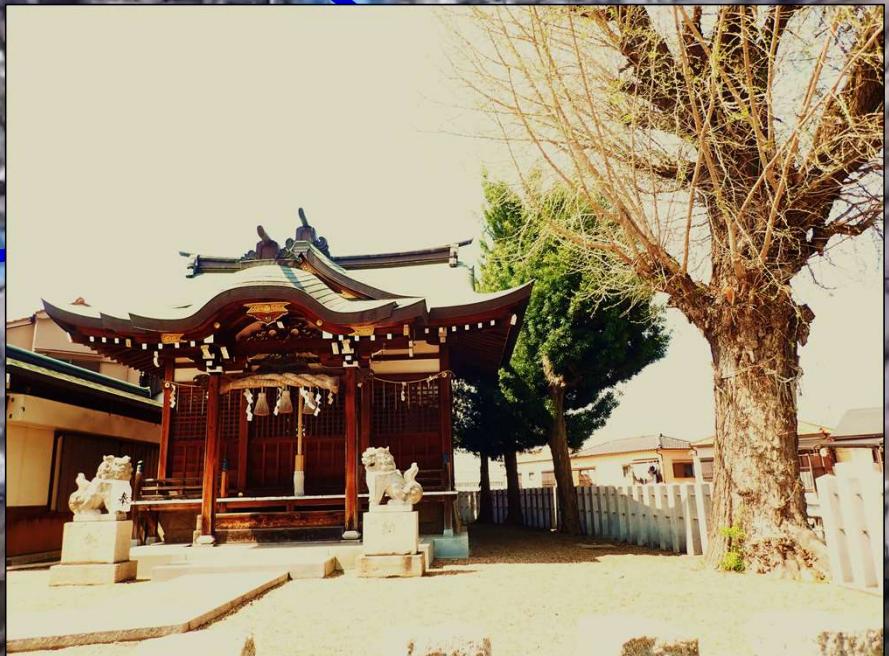
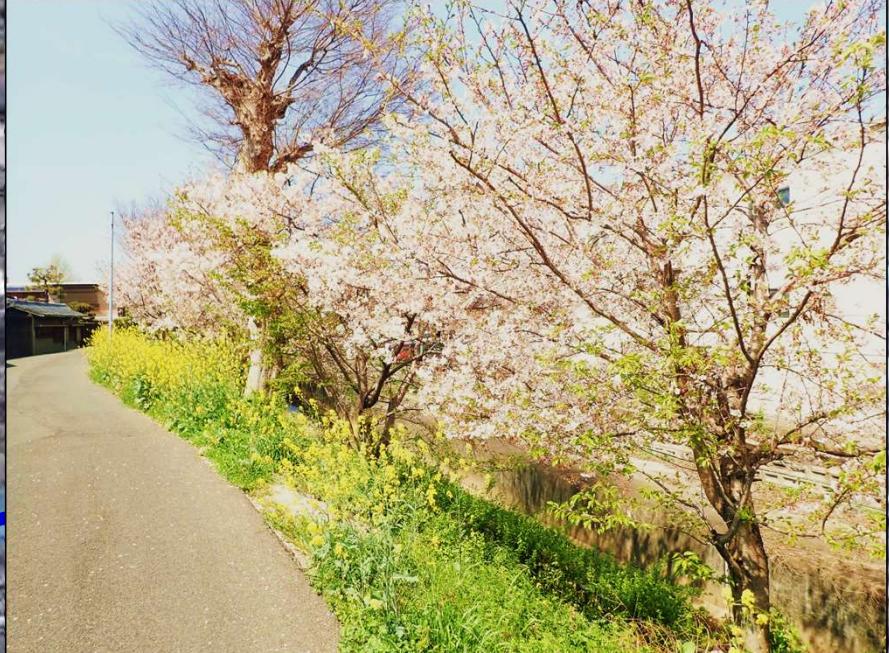


## ② 居住性向上エリアC

南摂津駅にほど近く、駅前の賑わいなど、「人どものが集まる賑わい（核）エリア」の特色が利用できるエリアです。

# 地域資源について

鳥飼まちづくりグランドデザイン P45



- ・古くからある寺社仏閣
- ・水路沿いに立ち並ぶ樹木は、まちの景観にうるおいを与えてくれる

# 地域資源について



- ・集合住宅や一戸建てなど多様な住宅が立ち並ぶ
- ・大阪モノレール南摂津駅に比較的近い
- ・公共交通へのアクセス性が高い
- ・近隣に商業施設、病院、鳥飼図書センターがあり日常生活の利便性が高い 31

# 将来予想について

鳥飼まちづくりグランドデザイン P46

- ・徒歩や自転車等により安全で快適に南摂津駅までアクセスできる
- ・駅前の利便性を享受できる



# 将来予想について

- 各家庭等では、自然災害への対策が徹底され、自分たちの生命と身体は自分たちで守るという意識が浸透
- 災害時の避難誘導や安否確認、避難所運営などがコミュニティ主体で実施されるなど「地区防災活動」が活発



# 将来予想について

鳥飼まちづくりグランドデザイン P46

- ・水路や水路沿いの縁地等は親水空間として整備



# 将来予想について

鳥飼まちづくりグランドデザイン P46

- ・子どもから高齢者まで誰もが集える「場」が創出されている
- ・子育て世代も安心できる地域に根付いたコミュニティが形成されている



# 将来予想の実現に向けて

将来予想イメージは  
グランドデザイン策定委員会の中で出た意見を踏まえ  
て作成されています



皆様との意見交換を行い  
更なる磨き上げ（ブラッシュアップ）が  
必要です。

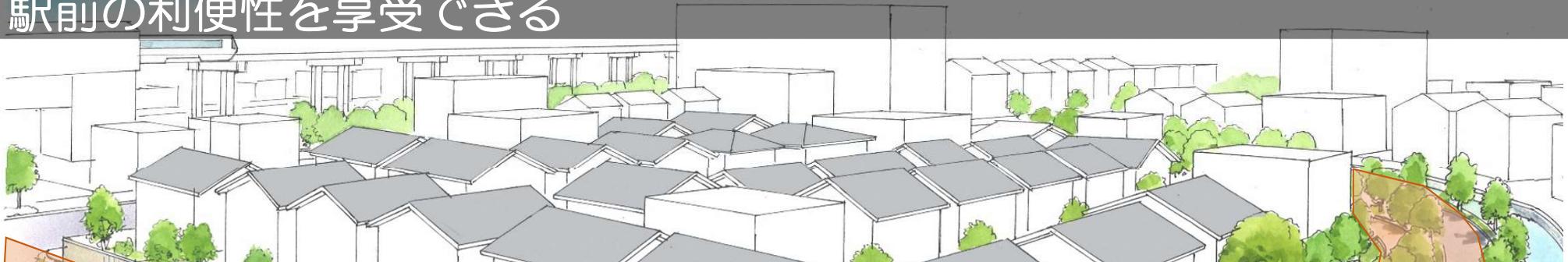
この将来予想を実現するには…

現状、様々な課題があり、その課題に対する解決に向けた取組の方向性について、次のように考えました

# 現状と課題・課題解決に向けた取組の方向性

## 【将来予想】

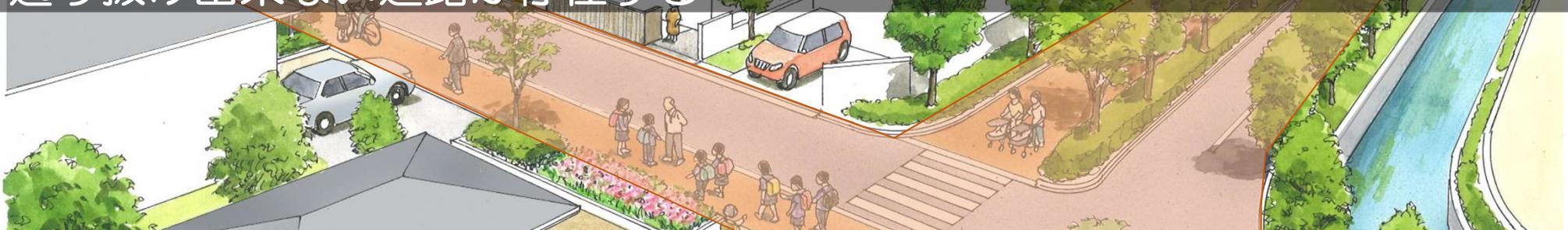
- ・徒歩や自転車等により安全で快適に南摂津駅までアクセスできる
- ・駅前の利便性を享受できる



## 【現状と課題】

- ・戸建て住宅等が密集し、生活道路は全体的に道幅が狭い
- ・通り抜け出来ない道路が存在する

鳥飼まちづくりグランドデザイン P48



## 【課題解決に向けた取組の方向性】

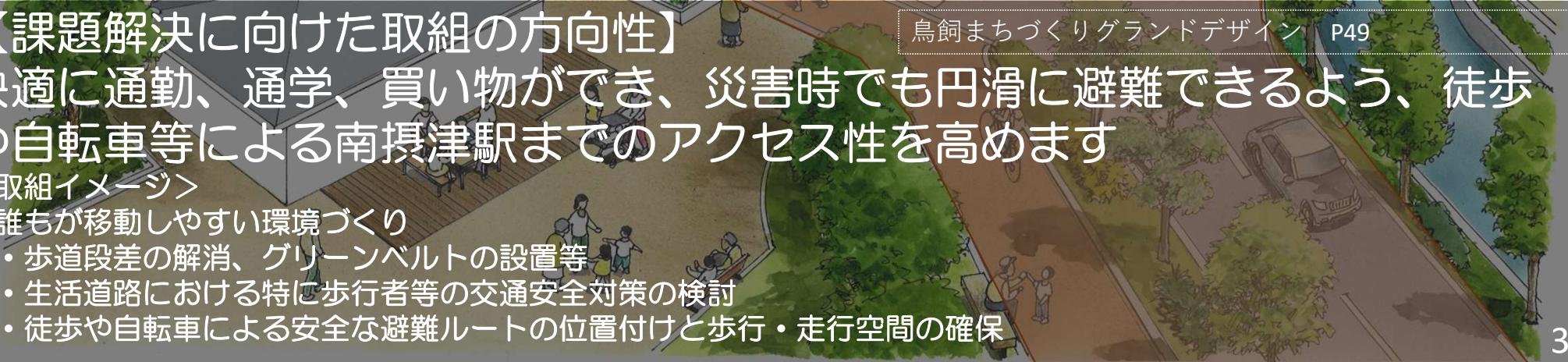
快適に通勤、通学、買い物ができる、災害時でも円滑に避難できるよう、徒歩や自転車等による南摂津駅までのアクセス性を高めます

### ＜取組イメージ＞

◎誰もが移動しやすい環境づくり

- ・歩道段差の解消、グリーンベルトの設置等
- ・生活道路における特に歩行者等の交通安全対策の検討
- ・徒歩や自転車による安全な避難ルートの位置付けと歩行・走行空間の確保

鳥飼まちづくりグランドデザイン P49



# 現状と課題・課題解決に向けた取組の方向性

## 【将来予想】

- ・各家庭等では、自然災害への対策が徹底され、自分たちの生命と身体は自分たちで守るという意識が浸透
- ・災害時の避難誘導や安否確認、避難所運営などがコミュニティ主体で実施されるなど「地区防災活動」が活発

鳥飼まちづくりグランドデザイン P48

## 【現状と課題】

- ・淀川の水害リスクの理解不足
- ・水害対応の広域避難の方法について、細分化した地区ごとに検討が必要
- ・自治会加入率の低下など地域コミュニティの弱体化  
→高齢者、障害者等の避難行動要支援者の適切な避難が不安

鳥飼まちづくりグランドデザイン P49

## 【課題解決に向けた取組の方向性】

円滑な広域避難や避難行動要支援者に対応するため、地域の防災力・減災力を高めます

### 〈取組イメージ〉

◎自助 共助 公助（みんな）でつくる安心安全

#### ①防災知識の普及

- ・防災出前講座、防災教育の授業、自主防災訓練の実施等

#### ②災害の備え

- ・水害保険の導入検討等

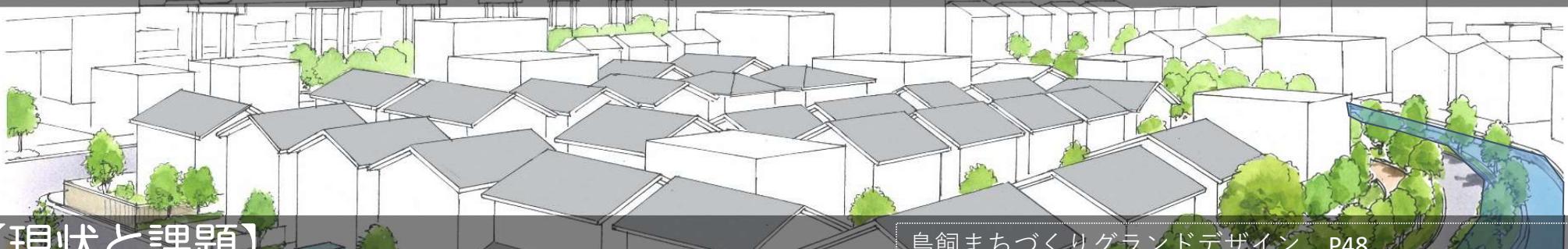
#### ③災害時の避難者支援

- ・避難行動要支援者の個別避難計画の作成等
- ・自主防災組織等による「地域で逃げる仕組み」の構築
- ・緊急避難場所の確保（民間施設との防災協定の締結）

# 現状と課題・課題解決に向けた取組の方向性

## 【将来予想】

- ・水路や水路沿いの緑地等は親水空間として整備され、個性豊かで美しい景観を形成



## 【現状と課題】

- ・農業用水路とそれに並行する並木の道路は一部のみ  
⇒ このエリアを特徴付ける景観となるには十分ではない

鳥飼まちづくりグランドデザイン P48



## 【課題解決に向けた取組の方向性】

良好な居住空間を形成するため、今ある地域資源である農業用水路を保全するとともに、並木道の整備に努めます

### 〈取組イメージ〉

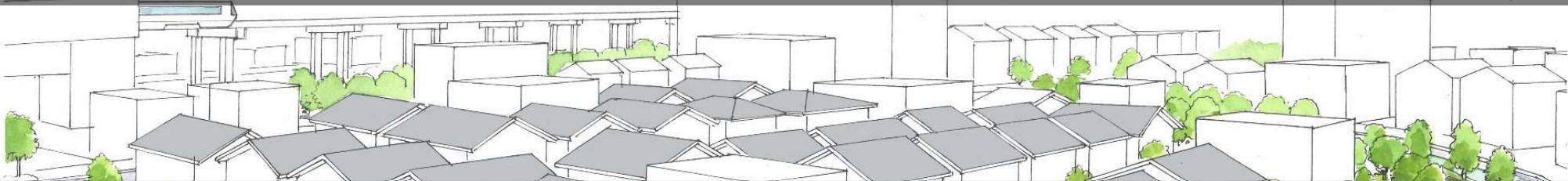
- ◎地域資源を活かしたにぎわい・魅力あふれる環境づくり
  - ・公民連携による水路や緑地等の維持・活用に向けた取組の検討
  - ・生活道路の拡幅と緑化推進

鳥飼まちづくりグランドデザイン P49

# 現状と課題・課題解決に向けた取組の方向性

## 【将来予想】

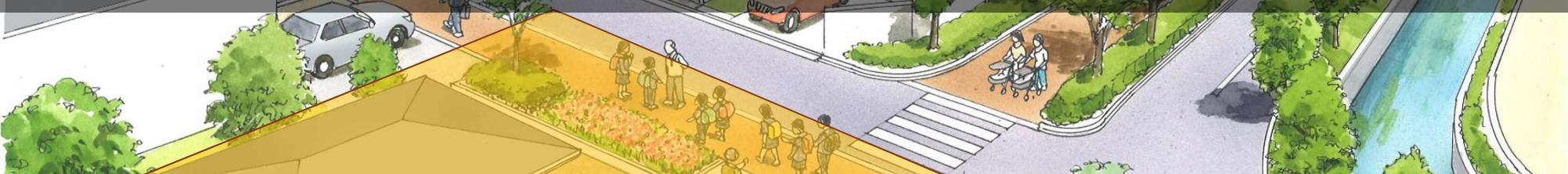
- ・子どもから高齢者まで誰もが集える「場」が創出されている
- ・子育て世代も安心できる地域に根付いたコミュニティが形成されている



## 【現状と課題】

- ・集会所や民間施設も含めてオープンスペースとして利用できる場所は限定的
- ・子どもから高齢者まで誰もが集える「場」が無い
- ・古くからお住いの方と子育て世帯等が交流する場が無い
- ・防災や地域福祉などの様々な生活課題を解決するための場が無い

鳥飼まちづくりグランドデザイン P48



## 【課題解決に向けた取組の方向性】

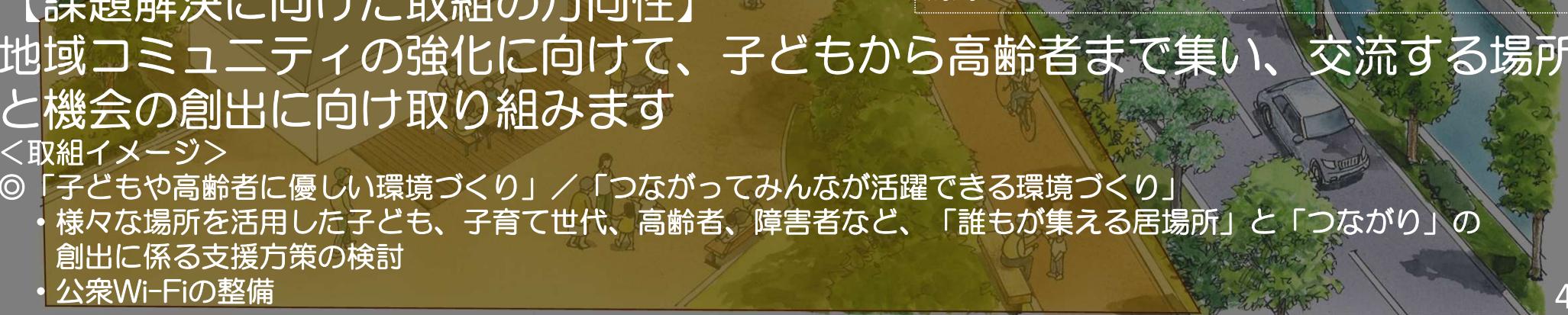
地域コミュニティの強化に向けて、子どもから高齢者まで集い、交流する場所と機会の創出に向け取り組みます

### 〈取組イメージ〉

◎「子どもや高齢者に優しい環境づくり」／「つながってみんなが活躍できる環境づくり」

- ・様々な場所を活用した子ども、子育て世代、高齢者、障害者など、「誰もが集える居場所」と「つながり」の創出に係る支援方策の検討
- ・公衆Wi-Fiの整備

鳥飼まちづくりグランドデザイン P49



# 皆さんにお聞きしたいこと

「将来予想」は、地域資源を大切に活かし、地域の課題を一つ一つ解決しながら、地域の皆さんと一緒になって実現させていくものと考えています。そこで

- ①さんが**大切にしている地域の特徴**で、今回お示しした地域資源になかったもの
- ②さんが**現在期待している将来予想**で、グランドデザインの将来予想に足りない部分
- ③さんの期待する将来予想を実現するための課題、その課題への対応  
について、お聞きかせください。

ご意見シートにご記入いただくな、ご意見フォームへご入力ください。

## ☆意見募集期間

**本日～6月14日（水）**

FAXはこちら⇒ 06-6319-5970

## ☆意見シート回収場所

ご意見フォームはこちら⇒



鳥飼図書センター・摂津市役所4階政策推進課分室

# 次回について

本日いただいたご意見は、後日HP等で共有させていただきます。  
次回の内容は、以下を予定しています。

- ・将来予想や取組の方向性の修正の必要性
- ・今後の進め方

## 【次回日程】

8月下旬ごろの予定

改めて市広報・市HP等でお知らせします

居住性向上エリアC 1回目  
～エリアの将来予想・取組の方向性の共有～

ご参加ありがとうございました

令和5年5月14日

鳥飼まちづくりグランドデザイン  
HPはこちら



グランドデザインへのご意見はこちらから

ご意見・ご感想等何でも  
お気軽に送ってください。

メールの場合はこちら ↓ ↓  
torikai-machizukuri@city.settsu.osaka.jp



こんな**地域資源**がある

例) 自然環境豊かな淀川のワンド

①

②

こんな**課題**がある

例) 現状、草が伸び放題となっており、安全に近づくことが出来ない

①

②

こんな**将来予想**がある

例) 程よく環境整備され、安全性が確保されたワンドで魚釣り等をしながら様々な世代の交流が行われている

①

②

こんな**取組対応**ができる

例) 地域で草刈イベントを実施する

①

②